

## 釧路行きなどの都市間バスを札幌駅バスターミナルから乗車できるようにしてほしい

《行政苦情救済推進会議の検討結果を踏まえたあっせん》

- この度、当局に、次のような行政相談がありました。

「私は、JR沿線に住んでおり、札幌から釧路へ行くのに、運賃が鉄道より安い都市間バスを時々利用している。しかし、同バスの乗車場所は北海道中央バスの札幌ターミナル（大通り東1丁目）なので、JR札幌駅から地下鉄等を利用しなければならず、重い荷物を持つての移動は大変不便である。一方、釧路から札幌に帰ってくる場合には、終着が札幌駅バスターミナルなのでJRとの乗り継ぎに便利であるので、札幌から釧路に行く便についても、札幌駅バスターミナルから乗車できるようにしてほしい。」

- 現在、札幌駅バスターミナルから乗車できない都市間バスを札幌駅バスターミナルに乗り入れることは、特定のバス会社だけで解決できる問題ではなく、共同運行している他のバス会社やバスターミナル管理会社の意向、待合室の深夜使用の問題など関係者がともに検討していかなければ実現しないものであることから、当局では、総務省北海道管区行政評価局長が開催する行政苦情救済推進会議（座長：山畠 正男北海道大学名誉教授）に諮り、その意見を踏まえて、平成14年3月29日、北海道運輸局に対してあっせんしました。

- 当局のあっせん内容は次のとおりです。

札幌駅バスターミナルから乗車できない都市間バスを、乗車できるよう同ターミナルに乗り入れることは利用者の利便性の向上につながることから、このような要望があったことを関係事業者に伝え、改善に向けた検討を行うことを要請するよう北海道運輸局に対して求めたものです。

（連絡先）

総務省北海道管区行政評価局

行政相談部首席行政相談官

電話：（011）709-1803（直通）

（011）709-2311 内線3123

## 当局の調査結果（概要）

## 1 道内都市間バスの運行状況

都市間バスは、都市間直行客を輸送することを主たる目的とし、拠点都市間を最小限度の停留所に停車して運行。

現在、道内において運行されている片道 100キロ以上の都市間バスは次表のとおり、17事業者35区間あり、その輸送人員は延べ約 296万人と、北海道内における交通手段のひとつとして重要な役割。

北海道内都市間バス(片道100キロ以上の)の運行状況

発着都市		区間数	輸送人員
札幌発着	旭川・釧路・帯広・北見・網走・芦別・浦河・遠軽・新十津川・倶知安・根室・室蘭・瀬棚・稚内・登別・洞爺・日高・函館・富良野・豊富・名寄・紋別・留萌	23	約270万人
旭川発着	釧路・遠軽・枝幸・帯広・稚内・北見・紋別	7	約17万人
釧路発着	根室・北見	2	約5万人
帯広発着	釧路・北見	2	約2万人
北見発着	紋別	1	約2万人
合計		35	約296万人

- (注) 1 当局の調査結果に基づく。  
2 輸送人員は平成12年度実績。

## 2 札幌市内における都市間バスの発着状況

現在、札幌市内を発着して運行している都市間バス(片道100キロ以上の)は23区間あるが、このうち、JR札幌駅に隣接する札幌駅バスターミナルから乗車できるものは17区間あり、乗車できないものは、次表のとおり、釧路、帯広、函館、北見、網走、根室行き6区間27便。

これら6区間は、北海道中央バス(株)が運営する札幌ターミナル(札幌市大通東1丁目)、または、札幌市が運営する大通バスセンター(札幌市中央区南1条東1丁目)を始発として運行。

一方、これら都市間バスの札幌着の便の終着停留所は、札幌駅バスターミナルまたは札幌駅前。

札幌駅バスターミナルから乗車できない都市間バス

区 間	通 称	事業者	札幌発
札幌 函館	オーシャンドリーム(共)	中央バス、道南バス	中央バス札幌ターミナル
	オーロ号	北都交通	札幌大通バスセンター
札幌 帯広	ポテトライナー(共)	中央バス、JRバス、拓殖バス、十勝バス、北都交通	中央バス札幌ターミナル
札幌 釧路	スターライト釧路号(共)	中央バス、くしろバス、阿寒バス	中央バス札幌ターミナル
札幌 北見	ドリミントホーツ号(共)	中央バス、網走バス、北見バス	中央バス札幌ターミナル
札幌 網走			
札幌 根室	オーロ号(共)	北都交通、根室交通	札幌大通バスセンター

- (注) 1 当局の調査結果に基づく。  
2 表中の「(共)」は、複数のバス事業者による共同運行を示す。

3 バス事業者が札幌駅バスターミナルから乗車させていない理由等

札幌駅バスターミナルの収容量は限られ、これら都市間バスの入り込む余地がなかったこと  
これら都市間バスは予約制であるが、案内所が狭く予約券売機の設置が困難なこと  
予約者のための待合の施設がないこと  
地下や2階からの出入り口が深夜便の出発前に閉まってしまうこと等

4 JR(鉄道)と都市間バスの運賃比較

札幌駅バスターミナルから乗車できないこれら都市間バス6区間の運賃について、JR(鉄道)と比較すると、次表のとおり、約3割から4割程度、いずれもJR(鉄道)より安価に設定。

JR(鉄道)と都市間バスの運賃比較 (単位:円、%)

区 間	JR(鉄道)	都市間バス	差 額
札幌～函館	14,160	8,340	5,820 (41.1%安)
札幌～帯広	12,340	6,930	5,410 (43.8%安)
札幌～釧路	16,200	10,200	6,000 (37.0%安)
札幌～北見	14,700	9,770	4,930 (33.5%安)
札幌～網走	16,260	11,710	4,550 (28.0%安)
札幌～根室	19,280	12,840	6,440 (33.4%安)

- (注) 1 「JR(鉄道)」欄は、往復割引切符(Rきっぷ)の運賃を計上。  
2 「都市間バス」欄は、往復割引切符の運賃を計上。

5 札幌駅バスターミナルの概要

札幌駅バスターミナル(中央区北5条西2丁目)は、札幌ターミナルビル株が運営。3レーン19停留所あり、始発が午前6時17分、終発が午後11時10分で、一日平均1,469便を運行。

平成13年12月1日から、それまで北海道中央バス株が利用する南レーンから発着していた小樽行き的高速バス(平日延べ192便)が全てジェイ・アール北海道バス株が利用する北レーンの1番乗り場に移る。